

コンピュータ教室からノートPCを持ち出し、普通教室でも活用

スムーズにタブレットモードへ変えられる軽量な2 in 1 モバイルノートPCを、コンピュータ教室でも普通教室でも活用。
無線LANを校内すべてに利用できる環境を構築することで、様々な授業に持ち出して幅広い活用を可能にしました。



用途に合わせて選べるNECのICT機器

VersaPro UltraLite VN タイプ

処理パフォーマンスと省電力性能を両立した
インテル® Core™ プロセッサ搭載

約926gの軽量ボディ
13.3型フルHD IGZO® 液晶*
薄さ16.9mm
タッチパネル搭載

*IGZOはシャープ株式会社の登録商標です。

Windows

● Windows 10 搭載 タブレットPC

軽量薄型ボディ
VersaPro タイプVT
10.1型ワイド

見やすい大画面
VersaPro タイプVS
11.6型ワイド

※写真のキーボードは、セレクションメニューで選択となります。

● 電子黒板

タッチパネル内蔵ディスプレイタイプ
Windowsタブレットの操作性を大画面で可能にする電子黒板

65型

プロジェクター・一体型タイプ
専用電子ペンで書き込む82型大画面ボード

82型

安全に関するご注意 使用の際は、商品に添付の取扱説明書の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。水、湿気、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、故障、感電などの原因となることがあります。●本商品は24時間以上の長時間連続使用を前提とした設計になっておりません。バッテリーパックは消耗品です。バッテリー駆動時間が短くなった場合には、純正の新しいバッテリーと交換、または「バッテリー交換サービス」をご利用ください。

商品の最新情報を下記で提供しています。

NEC ビジネスPC 情報発信サイト
<http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/>

お問い合わせ、ご用命は下記の販売店へ

●Microsoft、Windows、およびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面を使用しています。●BrainBoardは、NECディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。●その他本カタログに記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。●本カタログの内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することや供給を停止することがありますのでご了承ください。●本カタログで使用されている商品は、本カタログおよび広告用に撮影したものです。そのため、実際の商品とはデザイン、外観などで多少異なることがあります。また、写真は印刷のため、商品の色と多少異なる場合があります。●画面はハメコミ合成です。●商品写真の大きさは同比率ではありません。

2 in 1のコンバーチブルPCとタブレットPCを併用した
効率のよい授業環境でアクティブラーニングを推進

埼玉県和光市教育委員会 様



機能性とデザイン性にすぐれた校内に、充実したICT環境を整備 コンピュータ教室でも普通教室でもICT機器をフルに活用し、 アクティブ・ラーニングを実践



NEC がおすすめする Windows 10 Pro.

埼玉県南端に位置し、交通アクセスの利便性にすぐれた和光市に、平成28年4月、和光市9番目の小学校として下新倉小学校が開校しました。未来の学校をイメージさせる、木のぬくもりあふれる学び舎は、機能性とデザイン性にすぐれ、充実したICT機器とその利用環境を整備。タブレットPCにモードチェンジできる2 in 1 モバイルノートPC「VersaPro タイプVN」40台とタブレットPC「VersaPro タイプVT」20台を活用して、これから主流となる主体的・協働的な学びであるアクティブ・ラーニングをいち早く実践しています。

アクティブ・ラーニング実現の教育基盤を整備し、その成果を各校へも展開



和光市教育委員会 学校教育課
副主幹兼指導主事
島崎 秀 様

地域の生涯学習やまちづくりの拠点となる施設を併設した和光市初の複合型小学校である下新倉小学校。開校に当たって重視した点を、和光市教育委員会の島崎指導主事に語っていただきました。「児童・生徒が主体的に学びの中心となり、深く考えることによって一人ひとりが変容していくアクティブ・ラーニングを実現するため、先生方がいつでも気軽にICT機器を利用できる環境づくりに力を注ぎました。また、オープンスペースやメディアコーナーなど、児童が主体的・協働的に

パソコンなどを自由に利用できる空間も、ふんだんに配置しました。」
「アクティブ・ラーニングに対応可能な機器と設備を備え、学びの環境が従来と大きく変わった下新倉小学校での成果を踏まえ、今後は機器の選定と導入を進めます。また同時に、ICT機器を効果的に活用できる教職員の育成も進めていきます。」と、これからの和光市の教育環境について展望を述べました。

コンピュータ教室からノートPCやタブレットPCを持ち出し、普通教室で活用

スムーズにタブレットモードへ変えられる軽量モバイルノートを、コンピュータ教室でも普通教室でも活用

コンピュータ教室には専用ラックを置き、2 in 1 のモバイルノートPC「タイプVN」40台と、持ち運びに便利なタブレットPC「タイプVT」20台を収納。主に調べ学習や学習のまとめ、コンピュータリテラシー向上のための学習に活用しています。この教室では、机の上にケーブルやキーボードなど固定で設置するものが不要なため、グループ学習などの際に自由なレイアウトが可能です。



■毎回、専用ラックから取り出して使用します。使用後は元に戻してバッテリーを充電します。



■可動式のデスク、チェアにより、自由なレイアウトが可能なコンピュータ教室。無線LAN、バッテリー駆動への対応によりケーブルが不要なため、多目的な活用が図れます。

一方、普通教室にも無線LANが設置され、PCや電子黒板と接続。児童は、グループでテーマについて話し合ったり、実験や観察の結果を提示・発表したり結論をまとめたりするなどの学びにPCを活用しています。授業時間の多い国語や算数をはじめ、アリーナ（体育館）での体育の授業やクラブ活動などほとんどの教科・領域で、ICT環境を上手に利用して充実した教育活動を実践しています。

タイプVNを使った授業



■キーボードは360度開閉機構により、ノートPCとしてもタブレットPCとしても使えます。



■タブレットモードで使えば直感的に操作が可能。スムーズな使い心地を楽しめます。



■キーボードがあるのがわからないくらい薄く軽いので、持ち運びにも便利です。

主体的な学び、協働的な学びの実践にはICT機器の活用がキーポイント

児童も先生もICT機器を活用し、主体的かつ協働的な“学び”や“教え”を実践

アクティブ・ラーニング実現のための取り組みについて、和光市立下新倉小学校の橋爪校長に語っていただきました。「これからの時代は、主体的な学び、協働的な学びが不可欠です。そうした学びを実践するには、子どもたちが積極的にICT機器を使いこなしながら、いろいろな課題を解決していく。そんな教育の充実を図っていきたいと思い、ICT環境を整えました。」ICT機器操作のために、先生たちはどのような準備をされているかを尋ねま

した。「年度の当初に2回の教員研修を行いました。その後は教員一人ひとりが、ソフトの使い方を研究すると同時に、教員同士で情報共有しながらICT機器の有効活用を進めています。子どもたちが主体的に学ぶアクティブ・ラーニングに取り組むのと同じように、教員も主体的に指導に取り組んでいます。そうした姿勢が、子どもたちの学びにも反映し、良い影響をもたらしていると思います。」



和光市立下新倉小学校
校長
橋爪 永 様



■タイプVNのノートPCモードで使いながら、タブレットPCのようにタッチペンを使って書き込むこともできます。



■教室横のオープンスペース、ホールや階段など校舎内のさまざまな場所でPCを使えるように無線LAN環境が整えられています。

導入事例について詳しくはこちら → <http://jpn.nec.com/bpc/school-ict/> の「導入事例」をクリック

お客様紹介

● 和光市教育委員会 様
<http://iinkai.wako-city.ed.jp/>
「みんなでつくる 快適環境都市 わこう」を将来都市像に、まちづくりを進める和光市。基本目標の一つである「自ら学び心豊かに創造性を育むまち」の実現を目指す和光市教育委員会様は、家庭・地域・学校との連携を大切にしながら、個性を伸ばし生きる力を育む教育に取り組んでいます。また、多様化・高度化する市民の学習ニーズに応える生涯学習も推進しています。

● 和光市立下新倉小学校 様
<http://shimoniikura.wako-city.ed.jp/>
平成28年4月、和光市9番目の小学校として開校しました。「かしこく やさしく たくましく」を学校教育目標に、「わくわく にこにこ きらきら」一人一人の個性が輝き、豊かに生きる力をはぐくむ学校づくりを進めています。市内初の複合型小学校として、図書館分館や児童館、保育クラブを併設した地域文化の拠点としても期待されています。

●和光市教育委員会様の要望に応えるため、慎重に機器を選定



営業担当：
日本情報システム
公共営業部
部長代理
庭山 徳彦 氏

下新倉小学校のICT環境について、和光市教育委員会様から求められたことは、「普通教室でも簡単にPCを利用できる環境を実現したい」。そして、「コンピュータ教室のデスク上には何も置かず、コンピュータ教室を多目的に利用したい」という2点でした。パソコンによって、利用のしやすさや制約条件が大きく変わるため、慎重に機種選定を行った結果、メイン機種に360度開閉機構を備えた2 in 1 モバイルノートPCを40台、不足時に利用するサブ機種としてタブレットPC20台の構成で選定。いずれもNECの機種から選び、普通教室でも機動的かつ柔軟にPCが利用でき、しかも未使用時にはラック収納によりコンピュータ教室の多目的利用を可能にしました。